令和３年度
学校だより
ＮＯ．８
Ｒ３．９．２４

南小っ子

かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立中道南小学校
（児童数７４名）
編集　校長　小林　和仁

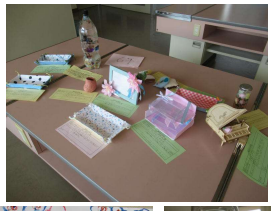
新たな２学期がスタートしました

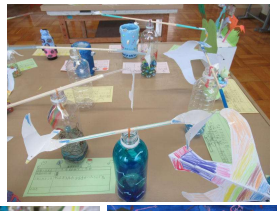
９月１０日までの分散登校が終わり、１３日（月）から通常登校になりました。どの学年も、全員揃ったことの嬉しさで笑顔いっぱいの教室に戻りました。１３日の朝には、全員揃った喜びとともに、新たな２学期のスタートとしての心持ち、そしてこれからの感染予防対策について全校放送で話をしました。分散での登校は特別な措置です。**「通常（普通）」であることがいかに大切なことだと気付く機会**になり、そのことを子どもたちにも伝えていきたいと思います。

県内・市内の感染者は減少していますが、一方で、「１０歳未満の感染者が増えているので、学校は感染予防対策を徹底する必要がある」、とニュース等で報じられています。１５日に各家庭に配付した通知でもお伝えしましたが、教職員は、日々の学習はもちろんのこと、様々な行事が予定されている２学期、「通常」を継続させるため、**「学校にウイルスを持ち込まない、感染拡大等によって南小の教育活動を止めない」**という意識をもって毎日指導しています。これまでも多大なご協力をいただき感謝しておりますが、今後も保護者やご家庭での更なるご理解とご協力をお願いいたします。

夏休み作品展（８／３１～９／３）

例年、作品展の期間中は、保護者やご家族の皆様に来校していただき子どもたちの作品をご覧になっていただくのですが、今回は感染予防対策として開放することができませんでした。作品は各学年ごとに特別教室等に展示し、自由参観ではなく、担任の付き添いのもとで学年ごとに鑑賞しました。それぞれの学年に応じた素晴らしい作品が展示されましたが、力作揃いだったのは、「おうち時間」が長かったからでしょうか。作品を眺めていると、楽しそうな笑顔や、難しい部分での苦労顔、また、家族の協力があったことでの安心顔、そして完成した瞬間の満足顔など、子ども一人一人の豊かな表情が目に浮かびました。たいへんよくがんばったと思います。各学年ごとの鑑賞では、下級生は上級生の作品に感心し、上級生は下級生の作品に微笑ましい表情を見せていたとのことです。





秋季運動会に向けて

１３日から始まった特別日課の練習期間も終わり、明日はいよいよ運動会です。厳しい残暑が予想されましたが、この２週間は比較的気温が落ち着き、熱中症や大きく体調を崩す子どももなく、無事に当日を迎えられそうです。

今年度は、感染症の予防対策として、「優勝」も「応援」もなく、縮小化・短時間化しての運動会となります。しかし、子どもたちには、そんな状況の中でも、「できることを、できる限りやろう」と伝えてきました。分散登校が終わり、８日間しか取り組めなかった特別日課期間での練習でしたが、先生方のアイデアと工夫を駆使した指導の下で、子どもたち一人一人が集中力を高め、「８日間も取り組めた」とても有意義な期間でした。全体の演技の数は減りましたが、表現力や技術を高めるために費やした時間は決して少なくなく、その高まりを、子どもたちの演技を通して感じていただきたいと思います。

明日は秋季運動会です。先日、通知を配付させていただきましたが、子どもたちは当日をとても楽しみにしています。安全・安心な運動会になるよう、保護者、ご家族様のご協力をお願いいたします。

養護実習生です、よろしくお願いします

９月６日から２８日まで、養護教諭の勉強のため、山梨県立大学から２名の教育実習生が来ています。学年所属は１年生と４年生ですが、朝の健康チェックや運動会の練習など、全校の子どもたちの健康を見守ってくれています。

飯野美貴先生

濱　朋香先生

学校だよりは、南小ＨＰにアップしております。ぜひご覧ください。 中道南小 検索　もしくは QRコードで